

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		中央公民館事業費〔五館合同事業〕												
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)													
担当部署・課長名	中央公民館 課 事業					係	課長名		佐伯 芳幸					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1-2	5-3					
【施策名】 生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立							総合計画書(ページ)	35	110					
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)								
	市民					→ 市の人口【4月1日】								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]地域で、学習の場に参加できる。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
	→ 五館合同事業参加者													
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤こころみかんだよりの発行					①夏休みみんなでつくる遊空間開催回数 ②市民大学(前期)開催回数 ③市民大学(後期)開催回数 ④こころみかんさと・東大和の魅力発見発信し隊開催回数 ⑤公民館のつとめ開催回数 ⑥五館合同交流会開催回数 ⑦こころみかんだよりの発行 ⑧障害者青年教室開催回数 ⑨地域デビューパーティー開催回数 ⑩五感活用うどん講座 ⑪ヒガシヤマト未来大学をいっしょにつくりませんか? ⑫ヒガシヤマト未来大学開催回数 ⑬デジタルアーカイブ講座開催回数								
	→													
3 経費	事業費(実績)		円					8,050,175		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円					8,050,175						
		特定財源	円					0						
	(うち受益者負担)		円					0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人											
		所要人数(再任用)	人											
		職員人件費(再任用以外)	円											
		職員人件費(再任用)	円											
	事業費+人件費		円	0		0		8,050,175						
	4 環境変化等	(1) 開始年度 平成16年度												
		(2) 環境の変化												
		①スタッフが当初の500人から1000人を超えるようになった。 ②③30年度にヒガシヤマト未来大学にリニューアルのため、29年度をもって事業廃止。 ④3年間の事業期間が終了したため、平成29年度をもって事業廃止。 ⑤平成28年度廃止。 ⑥平成26年度から年2回。 ⑦30年度にリニューアル ⑧平成27年度は中央事業、28年度は5館合同、29年度は中央事業として継続実施。 ⑨産業まつりと同時開催。 ⑩自主グループ化し、五館合同事業としては終了。 ⑪ヒガシヤマト未来大学へのリニューアルに向けた企画委員養成講座のため、平成29年度をもって事業終了。												
	平成31年度より「3経費」の計上方法を変更した(「中央公民館事業」に経費を一括して計上していたが、「中央公民館事業」「中央公民館施設管理」「公民館運営審議会の開催」「五館合同事業」にそれぞれ計上するようにした(人件費を除く))。													

事業名称		中央公民館事業費〔五館合同事業〕		
担当部署・課長名		中央公民館	課	事業係
		課長名	佐伯 芳幸	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	②③は若者の参加に重点を置き、市内外の若者の活動を活発化する目的で、「ヒガシヤマト未来大学」にリニューアルし、企画実行委員が自立して運営できることを目指す。⑦30年度にリニューアルを実施。⑫企画委員に市内外の若者が参加し、検討した企画を実施している。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組まされた。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：②③⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	協働事業は、増加傾向にある。少しずつ自主化への道をつけていき、新規事業取組への余裕をつくる必要がある。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	・ヒガシヤマト未来大学の充実と、自主活動に向けた取組の検討 ・「公活パーティー」の更なる充実			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	・ヒガシヤマト未来大学の活動を継続的に支援した。 ・「公活パーティー」の計画、実施			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	・ヒガシヤマト未来大学の今後の運営について、メンバーと職員で方向性を明確にする必要がある。 ・「公活パーティー」は人数が集まらず、中止となってしまったことから、取組み方を抜本的に見直す必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名：生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名：			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・ヒガシヤマト未来大学の運営については、公民館職員が適切な助言・支援を行う。 ・「公活パーティー」については、内容等を抜本的に見直す。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・ヒガシヤマト未来大学のメンバーと職員でコミュニケーションを密にするとともに、必要な知識を身につけ、メンバーに還元する必要がある。 ・効果的な事業方法を、他市の先進事例等を参考にし、研究する。			